

平成29年度子どものまなびを支えるセミナー（沿岸南部会場）実施要項

1 目的

- (1) 子どもに寄り添う事業のあり方を理解する。
- (2) 人のつながりを生み出す方法を学ぶ。
- (3) 他の実践から今後の事業改善の見通しを持つ。

2 主催 / 主管

岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会、岩手県教育委員会 / 岩手県立生涯学習推進センター

3 対象

- (1) 子ども会育成会、自治会等の子どものまなびを支える指導者
- (2) 市町公民館の事業担当者
- (3) 学校関係者（教員、PTA）・地域コーディネーター・教育振興運動関係者
- (4) 市町の生涯学習・社会教育関係職員
- (5) NPO法人関係者
- (6) 民生委員・児童委員
- (7) 市町保健福祉部局担当者 等

4 定員

30名

5 期日


平成29年11月2日（木）

6 会場

釜石地区合同庁舎 大会議室（〒026-0043 釜石市新町6-50 TEL 0193-25-2717）

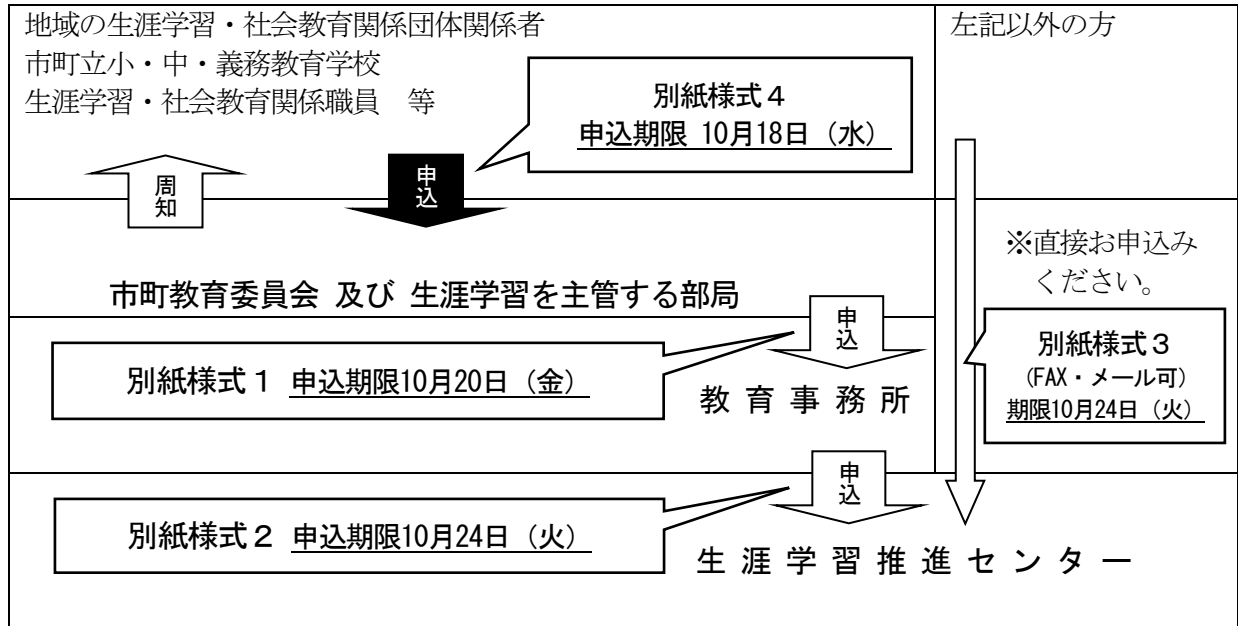
7 日程及び内容

区分	主に職員対象	主に指導者・ボランティア対象	要請研修
内容・領域等	事業プログラム	新任研修	復興支援
	社会教育・地域づくり	対人史料	読書活動
	家庭教育・子育て支援	広報史料	放課後対策
	学校と地域の協働	事業評価	その他

時間	講座内容	講師・指導者等
13:20	開会行事 [受付 13:00~]	
13:30 14:10	<p>【① 事例発表】</p> <p>「子どもに寄り添う大人たち」</p> <p>※ 死別など、様々な喪失体験をした子どもたちを支える活動を展開している団体の、実践を通じて聴こえてくる子どもの声やその様子から得た学びを、参加者と共有します。また、地域で子どもたちが自分らしく育つためにできることについて、一緒に考えます。</p>	<p>[発表者]</p> <p>NPO法人 子どもグリーンサポートステーション 大塚 光太郎 氏</p> <p>[助言者]</p> <p>尚綱学院大学エクステンションセンター センター長 松田 道雄 氏</p>
14:10 15:00	<p>【② 講義】</p> <p>「人のつながりをつくる仕掛け」</p> <p>※ 松田先生の代表的な活動「だがしや楽校」の実践から、人のつながりをつくるためにどのような手法を用いたか、地域にどんな影響を与えたかなどについて学びます。また、そのほかの実践からも、人のつながりをつくる事業のヒントを学びます。</p>	<p>[講師]</p> <p>尚綱学院大学エクステンションセンター センター長 松田 道雄 氏</p> 
15:10 16:30	<p>【③ 情報交流】</p> <p>「人のつながりをつくる事業とは」</p> <p>※ 事例発表、講義をふりかえるとともに、各所属の実践や取組の状況を情報交流し、人のつながりをつくる事業への改善を図る手がかりを探ります。</p>	<p>店番をする大人が見守る中で子どもたちが群れ、学校にはない世代を越えた学びの場だった「駄菓子屋」。このような年を重ねた大人と子どもたちとのゆるやかな学びの場を復活させるため、「だがしや楽校」の活動を提案。山形県内のほか東京都杉並区、福島県棚倉町、埼玉県狭山市、神奈川県綾瀬市、静岡県三島市、同沼津市、全国の教育支援協会など、各地でそれぞれ開かれています。</p> <p>「だがしや楽校」は、自分の趣味や特技を披露する場の「見せ(店)」を開き、相互に関わりながら学びを深めることを通じて、人のつながりを促すことを目指しているものです。さまざまな実践は、月刊誌『社会教育』（日本青年館）「発想する！授業」に連載中！</p>
16:30	閉会	

8 受講申込み

下記により、別紙様式にてお申込みください。



9 携行品

名札、筆記用具等、各自必要なもの

10 受講者旅費

派遣者において負担願います。

11 その他

本セミナーは、被災者支援総合交付金事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」により実施するものです。事前・事後アンケートへのご協力をお願いします。